

こけた顔に若い頃のふっくら感を再生する「ニューフィル」とは。

40代になってはじめて直面する老化現象、それが顔痩せ。どんなに下腹の脂肪が厚くならうとも顔だけはおかまいなしに痩せていく現実には愕然としている人も多いのでは。特に目の回りやこめかみの窪み、こけた頬は疲れて見え、どつと老け込んだ印象をつくる。

そこで脚光を浴びているのがニューフィルだ。これはポリ乳酸ベースの薬剤で、肌の真皮層に注射すると、約2年の間、徐々にコラーゲンやエラスチンが再生され続け、脂肪も増して肉厚のふっくら肌が変わっていくというもの。激的な即効性はないけれど、2年という持続期間はオイシイ。

昨年から導入を決めたあおいクリニックの中野先生も、「こけた目の回りや頬だけでなく、法令線や

口角のたるみ、ニキビ跡の凸凹を消すことや、唇を肉厚に戻すこともできる。切らない美容医療には限界があると思っていたけれど、ニューフィルの登場で、その考えが変わった」という惚れ込みよう。自らも体験済みで、まず肌のキメが整いハリが出るので、ヒアルロン酸のプチ整形からシフトする患者さんが多いのだそう。



肌をふっくらさせるニューフィルは、アメリカでは顔が痩せてしまったエイズ患者のQOL（生活の質）を上げる手段としても使われている。

細かい場所でも施術できるが、注射する位置が問題。注射液に麻酔薬が入っているので、痛みはそれほどもない。

ニューフィル

1本分 ¥100000

片目の下で3~4カ所、片頬で10カ所に注射。目もとで2回、他は3回、1カ月ごとに注射するのが目安。1カ月目から徐々に変化を実感。

(あおいクリニック)

あおいクリニック
中野あおい院長



自ら実践して女性ならではの視点で納得のいく美容医療に取り組む。●東京都中央区銀座5-5-13 坂口ビル5F ☎03-3569-0686 🕒10:00~19:00 📍木・日・祝 要予約